

平成30年度一般会計予算の特色

予算編成方針

1 予算編成の基本的な考え方

平成30年度予算編成は、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を創る施策を加速させていくこととする。

あわせて、非常に厳しい財政状況であることを真摯に受け止め、将来を見据えた健全な財政運営を行うため不足財源の縮減を図るとともに「将来のまちづくりに向けた投資を計画的かつ効果的に行うとともに、課題解決のための施策への集中」を全庁挙げて取り組む必要がある。また、不足財源の縮減に向け歳出の削減はもちろんであるが、歳入の確保に向けた取組も重要であるため、積極的に新たな財源を開拓する努力を行う。

2 基本方針

平成30年度は、30年後の町民の生活をイメージしつつ、第五次竜王町総合計画の残された期間を見据え、「竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を中心に、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌く交竜の郷」を実現するため、施策の具現化をさらに図り目標の達成に向けた取組を進めるものとする。

上記の取組を進めるため、平成29年度に実施した建設計画の見直しをルーティン業務（ソフト事業も含む。）として定着させ、加えて、毎年度、各事業の評価を行い、PDCAサイクルを確立し、将来的には第五次竜王町総合計画の総括を行っていくこととする。

なお、平成29年度から開始している重点施策プロジェクトを力強く推進しつつ、特に、次の2つを柱とし、これまでの視点に加え新たに世界共通の目標であるSDGsの視点も加え、縦割りの組織に捉われず関係部局が課題と目標を共有し、横断的な体制のもと、組織の力を最大限に発揮していくこととする。

(1) 活力あるまち創り

- ①工業団地等への企業誘致を契機として若者定住対策と雇用の促進
- ②竜王で子どもを育てたいという教育の充実
- ③竜王ブランドを全国へ発信
- ④教育・福祉機能の集約化やネットワーク機能の強化

(2) 安心して暮らし続けられるまち創り

- ①公共交通や移動手段の確保
- ②安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実
- ③健康寿命の延伸と居場所づくりの推進をより一層強化
- ④防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化

予 算 額

一般会計の総額は、55 億 2,300 万円とし、前年度に比べ 6,300 万円の減、率にして 1.1% の減としました。

前年度当初予算と比較すると、滋賀竜王工業団地に係る事業費 2 億 4,000 万円減、北東部地区防災拠点施設である水防施設の整備に係る事業費 4,650 万円減など大幅に減少となる事業があるものの、将来に向けた投資を積極的に行っていくため、公共交通利用促進事業 1,110 万円、防災情報通信設備整備事業 1,549 万円、八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金 3,608 万円、福祉医療費助成事業 1,606 万円、道路橋梁整備事業 3,975 万円、農林公園施設管理事業（田園資料館改修に係る事業）1,800 万円、竜王近江牛等特産品発信事業、（まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進に係る事業）2,190 万円、未来につなぐまちづくり交付金事業の創設による 1,514 万円などを増としました。

このことにより、予算規模としては、若干の減少となったところです。

〔歳 入〕（主なもの）

町 税 30 億 8,639 万円（3 億 4,258 万円、12.5%増）

法人町民税について、景気の回復基調等を勘案し法人税割 4 億 1,323 万円、243.1% の増加を見込む一方で、固定資産税について、評価替え等による 6,900 万円、4.1% の減少、町たばこ税について 400 万円、3.0% の減としました。

地方譲与税 4,900 万円（200 万円、4.3%増）

総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ増としました。

自動車取得税交付金 1,500 万円（700 万円、87.5%増）

総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ増としました。

地方交付税 4,000 万円（2 億 1,000 万円、84.0%減）

町税の大幅な増加により、普通交付税が不交付となる見込みであることから減としました。

使用料及び手数料 3,048 万円（237 万円、7.2%減）

幼稚園において園児が減少するため使用料を減としました。

国庫支出金 4 億 7,695 万円（5,851 万円、10.9%減）

地方創生推進交付金を活用し、まるごと「スキヤキ」プロジェクト等を実施するため 2,550 万円の増加、自立支援給付事業の増額に伴う 1,300 万円の増加を見込む一方で、滋賀竜王工業団地造成に伴うインフラ等整備に係る事業が一定終了したことによる皆減（7,000 万円）、臨時福祉給付金の給付事業が終了したことに伴う皆減（3,865 万円）により減としました。

県支出金

4億3,947万円（2,425万円、5.8%増）

選挙費委託金および社会福祉費負担金等の増額により増としました。

繰入金

6億903万円（3億1,842万円、109.6%増）

財政調整基金繰入金5億1,118万円（127.2%増）を計上しました。

諸収入

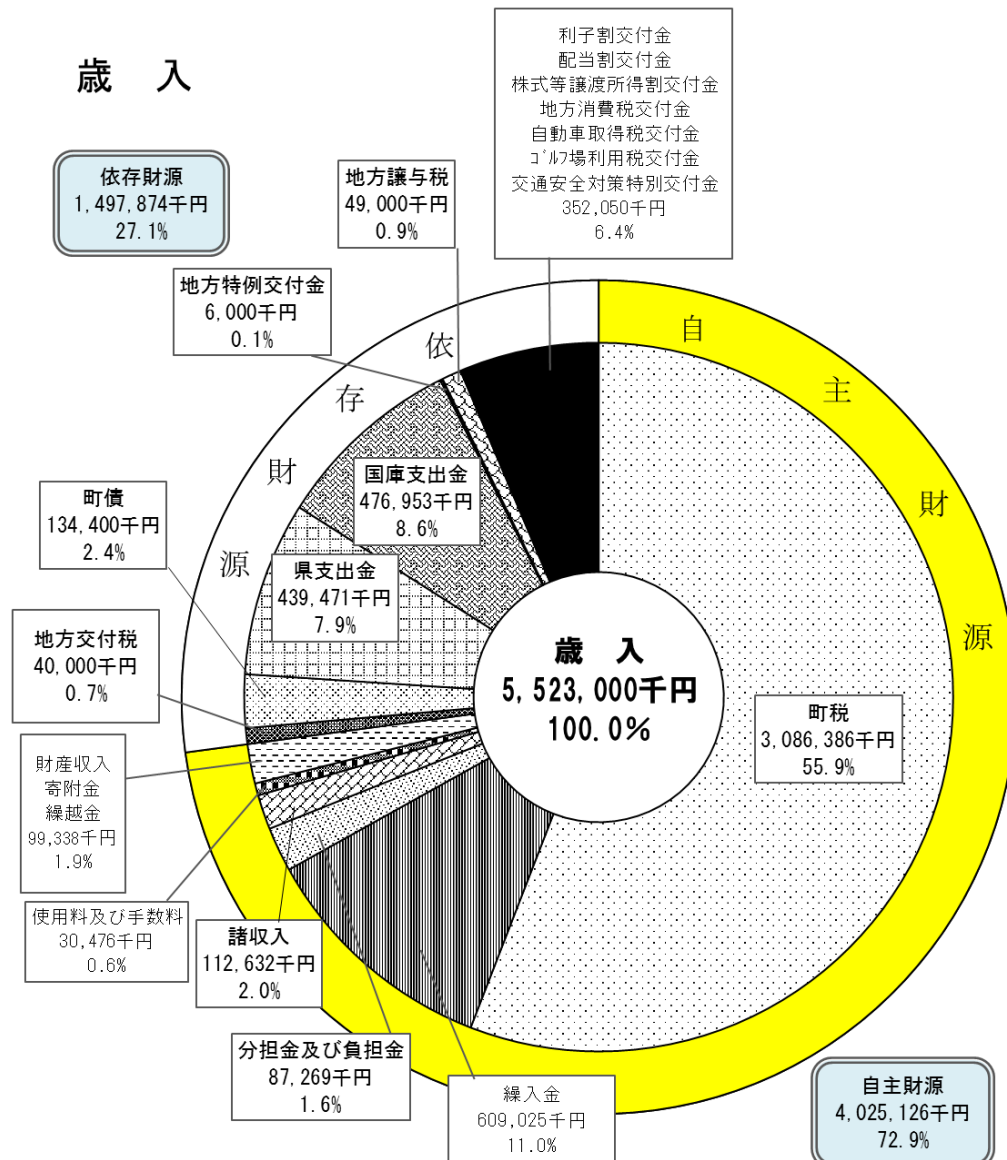
1億1,263万円（1億5,612万円、58.1%減）

滋賀竜王工業団地整備に係る事業費の減額等により減としました。

町債

1億3,440万円（3億3,910万円、71.6減）

適正な町債残高の維持に留意しつつ、将来の住民に渡って等しく負担を求めるべき経費への充当分として計上しました。また、普通交付税の不交付となる見込みであり、臨時財政対策債の発行が見込めないことから減となりました。



[歳 出]

《 目的別 》

議 会 費 7,508 万円 (133 万円、1.7%減)

人件費の減等により減少しました。

総 務 費 8 億 3,471 万円 (9,561 万円、12.9%増)

一般管理費（有線放送委託）、自ら考え自ら行うまちづくり事業、地域おこし協力隊事業等が減少したものの、総合庁舎維持修繕事業（総合庁舎劣化状況および耐震補強工事設計業務）、未来につなぐまちづくり交付金、企画総務費・一般管理（コンパクトシティ化検討業務）、公共交通利用促進事業、職員の人件費等が増加しました。

民 生 費 16 億 3,142 万円 (1,532 万円、0.9%増)

臨時福祉給付金事業、敬老のつどい開催事業、介護保険事業計画等作成事業等が減少したものの、福祉医療費助成事業、自立支援給付費、放課後児童健全育成事業等が増加しました。

衛 生 費 4 億 8,708 万円 (3,689 万円、8.2%増)

八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金、精神保健福祉事業（自殺対策強化計画策定業務）が増加しました。

労 働 費 1,132 万円 (67 万円、6.3%増)

シルバー人材センター育成事業の増等により増加しました。

農林水産業費 2 億 9,478 万円 (775 万円、2.6%減)

農林公園施設管理事業、日野川用水施設管理協議会負担金等が増加したものの、日野川流域土地改良区負担金、農地流動化等推進対策事業等が減少しました。

商 工 費 9,142 万円 (2,091 万円、29.7%増)

ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金等が減少したものの、竜王近江牛等特産品発信事業（まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進業務、竜王近江牛等特産品発信イベント開催事業補助金）等が増加しました。

土 木 費 5 億 9,312 万円 (2 億 641 万円、25.8%減)

道路橋梁整備事業等が増加したものの滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費等が減少しました。

消 防 費 2 億 6,824 万円 (1,393 万円、4.9%減)

防災情報通信設備整備事業（防災情報システム実施設計業務、全国瞬時警報システム更新）および町防災計画作成事業等が増加したものの、防災基盤整備事業等が減少

しました。

教 育 費 6 億 7,129 万円 (557 万円、0.8%増)

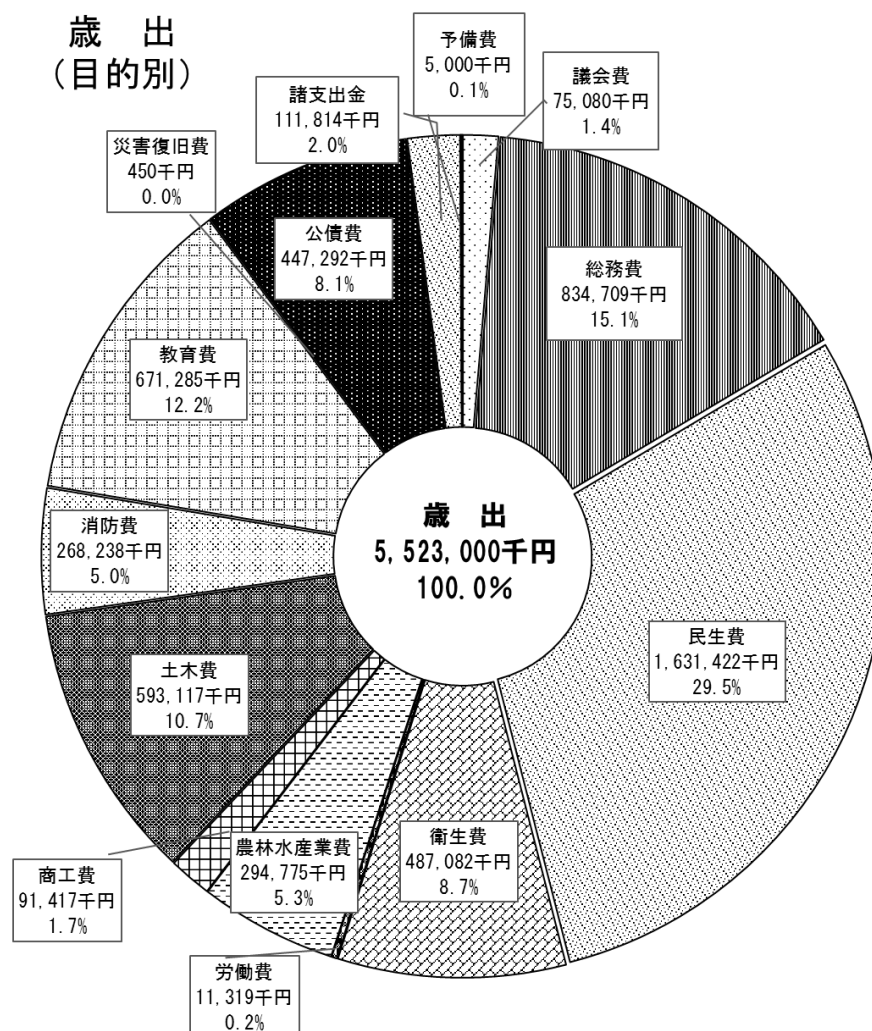
中学生海外派遣研修事業、竜王小学校管理運営費および図書館管理運営費が減少したものの、通学自動車管理運営費、生涯スポーツ推進事業（町民運動会実行委員会補助金）、スポーツライミング普及啓発事業等が増加しました。

公 債 費 4 億 4,729 万円 (2,117 万円、4.5%減)

元金および利子が減少しました。

諸 支 出 金 1 億 1,181 万円 (1,262 万円、12.7%増)

竜王町立竜王小学校改築基金への積立金等が増加しました。



《 性質別 》

人 件 費 12 億 6,796 万円 (3,219 万円、2.6%増)

人事院勧告等により増加しました。

物 件 費 9 億 4,490 万円 (3,990 万円、4.4%増)

有線放送委託、道路台帳更新業務、臨時福祉給付事業システム開発業務等が減少したものの、コンパクトシティ化検討業務、路線バス 夜間運行業務、公共交通システム構築業務、自殺対策強化計画策定業務が増加しました。

維持補修費 1,318 万円 (580 万円、78.6%増)

公用自動車維持管理事業、農林公園施設管理事業等に係る修繕費が増加しました。

扶助費 9 億 473 万円 (4,637 万円、5.4%増)

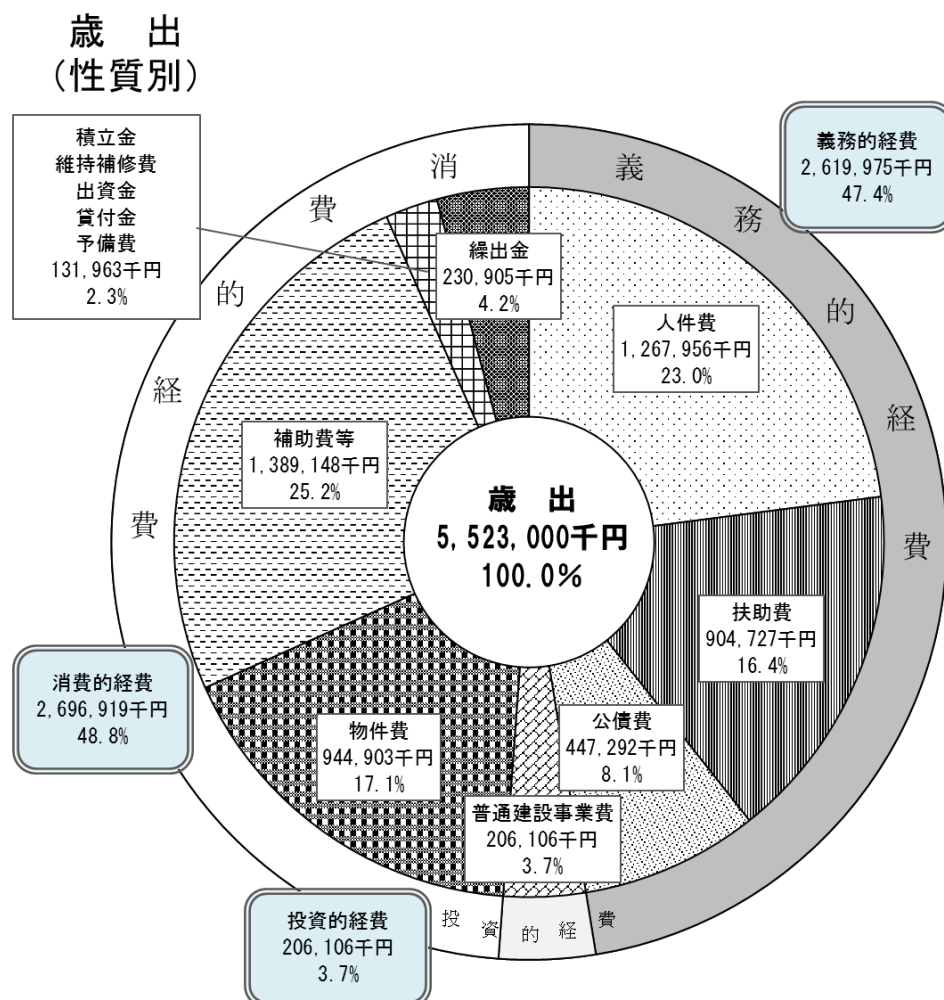
福祉医療費助成事業、自立支援給付費、保育所運営費等が増加しました。

補助費等 13 億 8,915 万円 (3 億 5,548 万円、34.4%増)

臨時福祉給付金、日野川流域土地改良区負担金等が減少したものの、公営企業会計適用による下水道事業補助金・負担金、未来につなぐまちづくり交付金、物件移転等損失補償費、放課後児童健全育成事業委託料等が増加しました。

普通建設事業費 2 億 611 万円 (2 億 5,397 万円、55.2%減)

防災情報通信設備整備事業（防災情報システム実施設計業務、全国瞬時警報システム更新工事）、農林公園施設管理事業（田園資料館改修工事）、道路橋梁整備事業（土地取得費）が増加したものの、滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費、防災基盤整備事業（水防施設整備工事）等が減少しました。



主要事業

平成 30 年度一般会計当初予算（案）については、明るく元気で活力あふれる強いまち竜王町、次世代に誇れる竜王町を創る施策を加速させていく予算としています。

特に、厳しい財政状況であることを真摯に受け止めつつ、将来のまちづくりに向けた投資を計画的かつ効果的に行うとともに、課題解決のための施策への集中、予算配分の重点化に取り組み、「活力あるまち創り」、「安心して暮らし続けられるまち創り」を2本柱として重点配分しています。

あわせて、これまでからの財政健全化の精神は踏襲し、将来を見据えた健全な財政運営にも取り組みます。しかしながら、本町の目指すまちづくりの実現に向けた各事業の実施に要する経費等について不足する財源確保のため、その一部を基金の取崩しにより補てんし予算を編成しました。

「活力あるまち創り」

【1 工業団地等への企業誘致を契機として若者定住対策と雇用の促進】

- ・【Ⅲ】 企業立地推進事業 9 5 万円
町内の企業が活動しやすい環境づくりや企業誘致を能動的に実施し町の振興を図る。
- ・【Ⅲ】 定住促進住宅新築・リフォーム助成事業 7 0 0 万円
定住促進と子育て支援を対象とし助成することで定住化を図る。

【2 竜王で子どもを育てたいという教育の充実】

- ・【Ⅱ】 ≪拡≫一人ひとりの子どもがキラリと輝く「きめ細かな教育」推進事業 5, 9 0 8 万円
町費による各種支援員等を町内校園に配置し、一人ひとりに寄り添うきめ細かな指導や支援を充実する。
- ・【Ⅱ】 グローバル化に対応した英語教育の推進 7 7 6 万円
就学前から中学校までの一貫した竜王らしい英語教育を推進する。
- ・【Ⅱ】 ≪新≫プログラミング学習推進事業 3 6 万円
教員が研修・研究する機会を設けるとともに、プログラミング的思考を育成するため魅力的な授業や教材の開発を行う。
- ・【Ⅲ】 ≪拡≫教師力・学校力アップ事業 6 7 万円
学校園自主公開アピール事業等を通して教師力・学校力を高め、竜王教育の質の向上を目指すとともに竜王教育を県内外に積極的に発信

【3 竜王ブランドを全国へ発信】

- ・【Ⅰ】《拡》魅力ある農業の創出事業 500万円
本町が誇る野菜・果樹・近江牛等の魅力ある農産物を真のブランドとして創生するための支援
- ・【Ⅲ】《拡》竜王近江牛等特産品発信事業 2,400万円
町内の生産者、企業、関係機関、行政が連携し、「近江牛」を基軸にしたまちの特産品や歴史、文化などの地域資源を「スキヤキ」というキーワードで総結集させ、まちの魅力の発信を行う。

【4 教育・福祉機能の集約化やネットワーク機能の強化】

- ・【Ⅱ】《新》農村型コンパクトシティ検討事業 500万円
30年後の竜王町のランドデザイン作成

「安心して暮らし続けられるまち創り」

【1 公共交通や移動手段の確保】

- ・【Ⅱ】《新》公共交通利用促進社会実験事業 1,110万円
これまでの高齢者支援の側面のみならず、子育て支援定住促進等についても目的とした中で社会実験も合わせて実施し住民ニーズも探る。

【2 安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと子育て支援の充実】

- ・【Ⅱ】《拡》小中学生医療費無償化事業 2,775万円
小学生から中学校卒業までの医療費の無償化を継続
- ・【Ⅲ】子育て応援軽自動車購入助成事業 108万円
定住促進および子育て世帯の支援を目的に軽自動車購入の助成を行い、地域経済の活性化を図る。

【3 健康寿命の延伸と居場所づくりの推進をより一層強化】

- ・【Ⅳ】地域支え合いしくみづくりモデル事業 82万円
5年先を見据えた地域課題を洗い直し、地域の支え合いで解決できる仕組みづくりを検討するとともに持続可能という観点から地域コミュニティを強化する取組を支援
- ・【Ⅱ】《拡》地域福祉コーディネーター配置事業 381万円
地域福祉コーディネーターの配置による地域丸ごとの支え合い仕組みづくり
- ・【Ⅱ】《新》健康ベジ7(セブン)チャレンジ事業(健康づくり推進事業) 87万円
本町の健康課題である糖尿病および高血圧などの予防のために、健康いきいき竜

王 21 プランに基づき、知識の普及や取り組みを進めることで、健康寿命の更なる延伸を図る。

【4 防災情報システムの構築と自主防災組織の機能強化】

- ・【Ⅱ】《新》防災情報通信設備整備事業 1, 0 0 0 万円
平成 31、32 年度に整備予定である防災行政無線等についての実施設計経費
- ・【Ⅱ】町防災計画作成事業 7 0 4 万円
法改正等も踏まえ現状にあった計画へ見直し、また近年の災害を踏まえ職員の対応マニュアルについても見直しを行う。
- ・【Ⅳ】《拡》日野川改修促進等国県事業要望強化事業 2 2 6 万円
日野川沿川住民の生活の安全ならびに産業経済の発展および災害防止の万全を期するため日野川の抜本的改修、インター周辺整備および道の駅拡充等を早期に実現するため国県への要望等に要する費用

地域の活力創出事業

地域に活力を与える事業について、竜王町未来につなぐふるさと交差点寄附金を一部活用し事業を実施していきます。

- ・【Ⅳ】《新》未来につなぐまちづくり交付金 1, 5 1 3 万円
平成 29 年度まで自治会向けの助成金として、自ら考え自ら行うまちづくり助成金事業を実施してきましたが、様々な世代が笑顔で暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指して新たな統合型交付金を創設します。
- ・【Ⅲ】地域おこし協力隊事業 4 8 0 万円
地域活性化に意欲のある都市住民を受け入れ、まるごと「スキヤキ」プロジェクト推進するとともに、定住・定着を図る。
- ・【Ⅱ】《新》公共交通利用促進社会実験事業【再掲】
- ・【Ⅳ】地域支え合いしくみづくりモデル事業【再掲】
- ・【Ⅱ】《拡》地域福祉コーディネーター配置事業【再掲】
- ・【Ⅱ】《新》戸籍住民登録費（記念撮影用ロールスクリーンスタンド作成）1 3 万円
出生届や婚姻届出等をされる方々を祝福し、よき記念となるよう窓口に記念撮影用のロールスクリーンスタンドを設置することで、本町へ興味を持ってもらい、竜王町に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるきっかけづくりとする。

・【Ⅲ】ふるさと納税推進費・《拡》ふるさと納税推進強化事業

3, 871万円・268万円

「竜王町未来につなぐふるさと交龍寄附金」がより多く寄附されるよう町内の特産品等のPRを行う。

・【Ⅱ】《新》健康ベジ7（セブン）チャレンジ事業（健康づくり推進事業）【再掲】

・【Ⅱ】《拡》教師力・学校力アップ事業（学校教育振興事業）【再掲】

・【Ⅳ】《拡》ドラゴンピック2018開催事業（町民運動会実行委員会補助金）200万円

「スポーツが地域を元気にする」を合言葉に、一人でも多くの町民の参加による運動会（ドラゴンピック2018）を開催することにより、スポーツを通じて健康で活力あるまちづくりを推進するとともに、町民運動会を地域交流推進の場とする。

・【Ⅳ】《新》スポーツライミング普及啓発事業

210万円

2024年に滋賀県で開催される国民体育大会に向けて、本町で開催予定のスポーツライミング競技誘致の機運醸成とボルダリング競技の魅力や楽しさを町内に発信することにより、町民のスポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを通じた健康づくりを推進する。

その他

・【Ⅳ】《新》スー・セー・マリー市友好親善使節団派遣事業

651万円

本町の姉妹都市であるアメリカ合衆国ミシガン州スー・セー・マリー市が、2018年に市の350周年を迎えるにあたり、同市からの参加要請を受け、祝賀イベントの時期に合わせて使節団を派遣

・【Ⅰ】《新》農林公園施設管理事業（田園資料館改修工事）

1, 800万円

まるごと「スキヤキ」プロジェクトにおける田園資料館施設改修工事

・【Ⅱ】竜王インター周辺地区整備費

4, 705万円

竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点へのアクセス道路の整備等と併せて、地域住民の安全・安心につながる防災施設や生活の質の向上につながる多目的広場などの整備を行う。

※【Ⅰ】～【Ⅳ】は、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類しております。

【Ⅰ】：「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

【Ⅱ】：「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

【Ⅲ】：「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

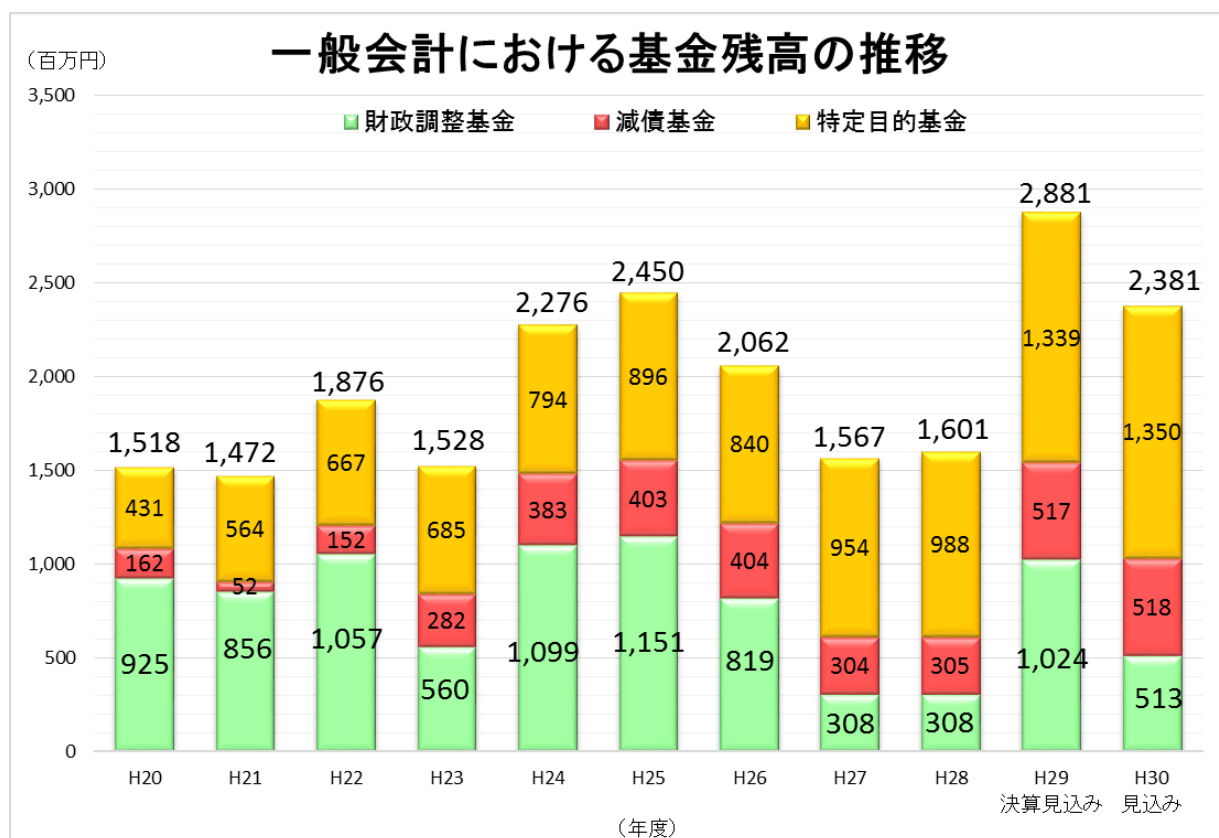
【Ⅳ】：「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

基金残高見込みについて

平成 29 年度において、町民税法人税割が大幅に増加したことから財政調整基金からの繰入れ 2 億 2,496 万 6 千円についてその全額を減額する見込みとなりました。あわせて、残高が危機的な状況となっている財政調整基金について、余剰財源を大幅に積立てることが見込めるため、平成 29 年度末で 10 億円強となるところであります。

このような状況においても、依然として厳しい財政状況であることに変わりはなく、平成 30 年度当初予算においては、普通交付税が不交付となること、歳出削減および歳入確保に努めてもまだ不足する所要の財源のため、財政調整基金から 5 億 1,180 万円を取り崩すこととしており、平成 30 年度末の同基金残高は 5 億円程度となる見込みであります。前年度に比べ大幅に改善している状況です。

また、その他の特定目的基金について、様々な行政課題に対応するため各特目基金から、9,784 万 5 千円の繰入を予定していますが、未来につなぐふるさと交遊寄附金へ 7,000 万円、公共施設維持管理基金へ 638 万 1 千円、竜王町立竜王小学校改築基金へ例年同様 3,000 万円などの積立を予定していることから、基金残高は若干の増加となる見込みです。

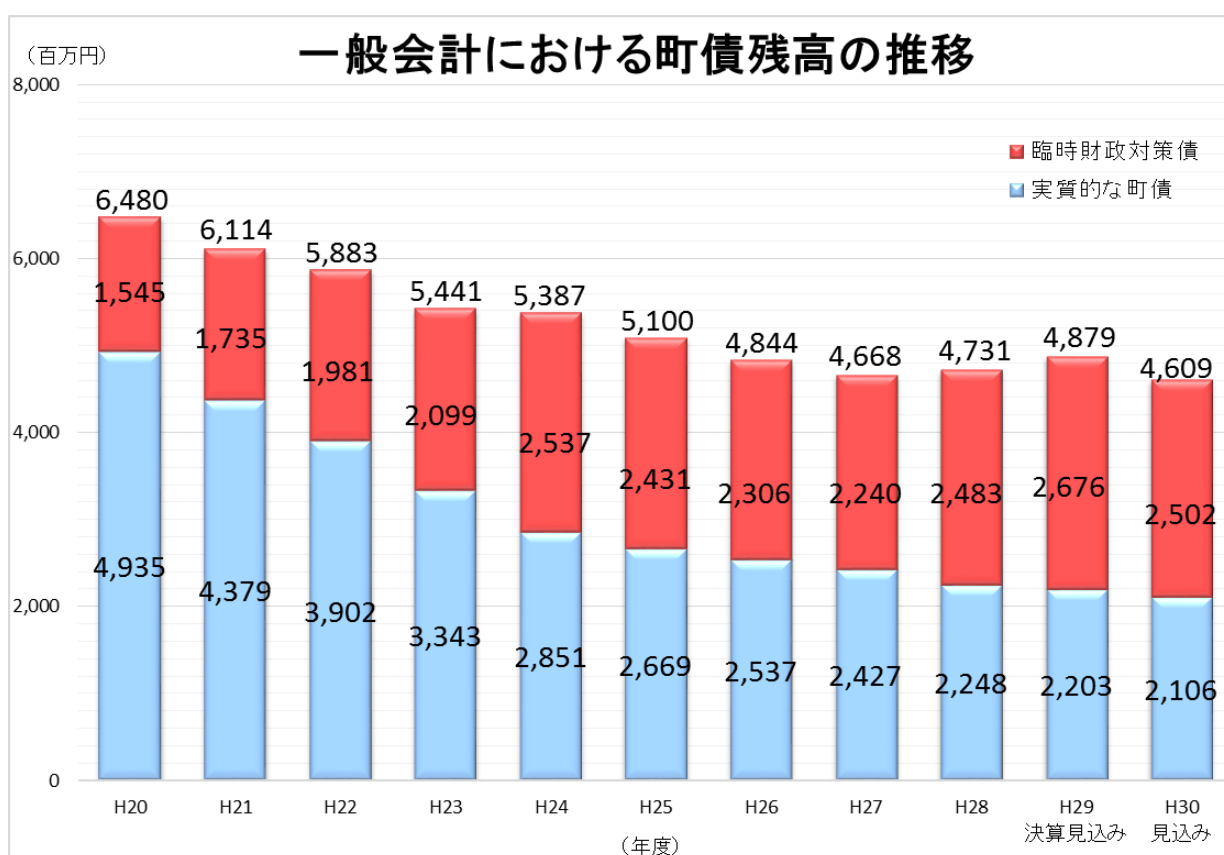


町債の発行および残高見込みについて

町債発行額は、1 億 3,440 万円で、対前年度当初予算比 3 億 3,391 万円（71.6%）の減と
しています。これは、平成 29 年度において町税が大幅に増加したことから、臨時財政対策
債が皆減することによるものです。

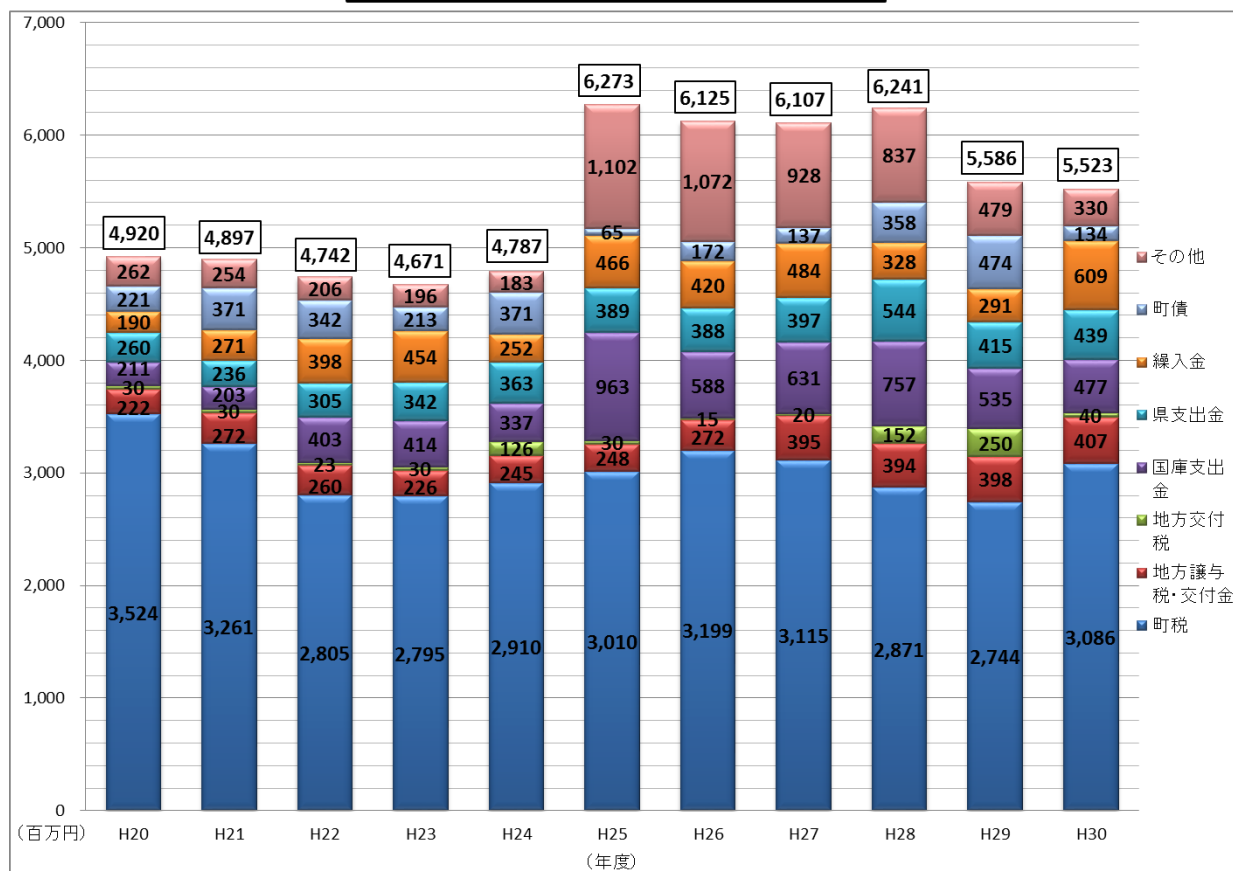
なお、平成 30 年度末の残高は、46 億 1 千万円、前年度当初比 3.9%減となる見込みです。
このうち臨時財政対策債の残高見込み額は 25 億円、前年度当初比 6.7%減となっています。

臨時財政対策債を除く実質的な町債残高については、発行抑制等により年々着実に減少し
ています。



その他（参考）

一般会計歳入予算の内訳の推移



一般会計歳出予算の内訳の推移

